

授業科目 生活支援論

【担当教員名】 丸田 秋男	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞】

障害者や難病患者、あるいは社会的な援護を必要とする人々が、家庭や地域の中で自分らしく安心のある生活が送れるよう自立を支援するためには、専門職としての生活支援の考え方を具体的に方法を明確化できる必要がある。保健・医療・福祉における生活支援の実態と障害者や難病患者等が抱える生活課題の体験的理解を通して、生活支援の意義とその方法等について学習する。

【＜学習目標＞】

1. 保健・医療・福祉における生活支援の概念とその意義を理解する。
2. 保健・医療・福祉における生活課題の実態を理解する。
3. 保健・慰労・福祉における生活支援の方法を理解する。
4. 国際生活機能分類による生活機能と関係を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・担当教員
1	オリエンテーション	専門職を目指す者としての自己の生活支援観を明確化する。		講義
2	生活支援の概念	生活支援の概念とその意義について学ぶ。		"
3	生活支援の実態①	福祉における生活支援の実態について学ぶ。		"
4	生活支援の実態②	医療における生活支援の実態について学ぶ。		" (外部講師)
5	障害者の生活課題①	身体障害者の抱える生活課題を体験的に学ぶ。		" (外部講師)
6	障害者の生活課題②	知的障害者の抱える生活課題を体験的に学ぶ。		"
7	障害者の生活課題③	精神障害者の抱える生活課題を体験的に学ぶ。		" (外部講師)
8	難病患者等の生活課題	難病患者等の抱える生活課題を体験的に学ぶ。		"
9	ホームレス等の生活課題	ホームレス等の抱える生活課題を体験的に学ぶ。		" (外部講師)
10	生活機能と支援①	国際生活機能分類による生活機能について学ぶ。		"
11	生活機能と支援②	生活機能と支援との関係について学ぶ。		"
12	生活支援の理論と実践①	ケアマネジメント事例を通して生活支援の方法を学ぶ。		"
13	生活支援の理論と実践②	セルフヘルプグループ事例を通して生活支援の方法を学ぶ。		"
14	まとめ			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	使用しない			
参考書	随時紹介する			
その他の資料	毎時間プリントを配布する			

【評価方法】

- ①出席 ②提出レポート
③期末試験を総合して評価する。

【履修上の留意点】

障害者や難病患者の当事者参加による学習機会を予定しているので、専門職に求められる倫理や価値を基本において真摯に取り組んでほしい。